



プレスリリース

報道関係者各位

2016年12月9日
Veeva Japan株式会社

**顧客データの品質改善に取り組むライフサイエンス企業が急増
ヨーロッパの業界調査で明らかに**

～ データの品質改善に「課題を抱えている」87%、「現在、取り組んでいる
または2年以内に取り組む予定」78%（初期報告）～

Veeva Systems【NYSE:VEEV】(本社：カリフォルニア州プレザントン、日本法人 本社：東京都渋谷区、日本法人代表取締役：岡村 崇、以下 Veeva)は、Veeva European Commercial Summit で発表した新たな調査において、ビジネスのさらなる効率化を目指す企業が急増する中で、顧客データの品質向上がライフサイエンス業界の最重要課題となっていることが明らかになりました。Veeva 2016 European Customer Data Survey の速報によると、調査対象企業の大半(73%)が顧客に関する全情報をリアルタイムに閲覧したいと回答している一方で、現在その実現に必要なデータを保有しているとした企業は全体の半数以下(40%)にとどまります。(本リリースは、Veeva 米国本社が発表した報道資料の抄訳です)

サードパーティ・ベンダーからデータ提供を受ける場合と社内でデータ管理を行う場合のいずれにおいても、ライフサイエンス企業は顧客データの最新性を維持するために多大な労力を費やしています。顧客データの変更処理にかかる企業の待機日数は平均で10日間であり、これは1営業日以内に処理が必要だとする回答(37%)も多数存在する中で、企業が望ましいとする3日(79%)の3倍以上の期間です。

回答者の5人に4人以上(87%)がデータ品質の改善に課題を抱えていると回答しており、そのほとんどはデータ提供を行うパートナー企業側の制約(41%)および複数

システムにわたるデータのサイロ化（38%）によるものです。また、データスチュワードサービスが非効率的または存在しない（36%）、データマネジメント技術が時代遅れまたはその開発スピードが遅い（30%）など、従来のスチュワードシップや技術アプローチも障壁として挙がっています。

高品質のデータこそがビジネスを効果的に進めるための鍵であることは業界全体が認識しているものの、企業はなお、先に述べたような課題に直面しています。回答者は顧客データの最重要目的として、販売およびマーケティングのさらなる効率化

（77%）、分析および意思決定業務の改善（76%）を挙げています。一方で、現在のデータ品質に満足していると答えたのは全体のわずか半数です。その結果、マルチチャネルのビジネス環境における業務効率化の要件と現在の顧客データ品質とのギャップを解消しようと、顧客データ品質の改善に向けて取り組みを進めている、または2年以内に取り組み予定であるとした回答が全体の4分の3（78%）を占めています。

Veeva OpenData のヨーロッパ部門戦略ディレクター、Guillaume Roussel は次のように述べています。「ヨーロッパのライフサイエンス企業において、データ品質や適時性の向上がビジネス効率化の手段として重要性を増すにつれ、業界は大きく変化しつつあります。現在の顧客データの収集と管理方法、業務スピードや生産性の向上を目指す新たなビジネス・インペラティブ、カスタマーエクスペリエンス、特にコミュニケーションチャンネルにおける横断的なオーケストレーションとのギャップを埋めることが急務となっています。」

Veeva 2016 European Customer Data Survey では、ヨーロッパ全体のライフサイエンス企業におけるデータ品質の現状を分析しています。調査結果は、ライフサイエンス企業で意思決定権を持つ80名を超える回答者の体験および意見に基づくものです。また、フランスやドイツ、イギリス、イタリア、スペインの回答者が大半を占めており、ヨーロッパの主要市場すべてを網羅しています。調査報告の全容は、2017年1月に発表予定です。

【Veeva Systems 社について】

Veeva Systems 社はグローバルなライフサイエンス企業向けにクラウドベースのソリューションを提供するリーディングカンパニーです。世界最大規模の製薬会社からバイオテクノロジー分野の新興企業まで 475 社を超える顧客を擁し、技術革新への取り組みや卓越した製品力によって、お客様の成功をサポートしています。Veeva は、サンフランシスコのベイエリアに本社を置き、ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカに拠点を展開しています。詳しくは、<https://veeva.com/jp/>をご覧ください。

【Forward-looking Statements】

This release contains forward-looking statements, including the market demand for and acceptance of Veeva's products and services, the results from use of Veeva's products and services, and general business conditions, particularly in the life sciences industry. Any forward-looking statements contained in this press release are based upon Veeva's historical performance and its current plans, estimates, and expectations, and are not a representation that such plans, estimates, or expectations will be achieved. These forward-looking statements represent Veeva's expectations as of the date of this press announcement. Subsequent events may cause these expectations to change, and Veeva disclaims any obligation to update the forward-looking statements in the future. These forward-looking statements are subject to known and unknown risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially. Additional risks and uncertainties that could affect Veeva's financial results are included under the captions, "Risk Factors" and "Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations," in the company's filing on Form 10-Q for the period ended April 30, 2016. This is available on the company's website at veeva.com under the Investors section and on the SEC's website at sec.gov. Further information on potential risks that could affect actual results will be included in other filings Veeva makes with the SEC from time to time.

【本件に関するお問い合わせ先】

Veeva Japan 株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー5階

TEL : 03-6721-9800 FAX : 03-3449-7800

E-mail : japan.info@veeva.com